

令和4年度（2022年度）公共事業再評価調書

（様式3）

基準年月日 令和4年8月1日

調書番号	08-11	所管部	建設部	作成責任者	建設部土木局河川砂防課砂防災害担当課長 吉田 安範
				担当係	砂防G（内）29-401

I 基本事項（基準日時点）

事業種別	火山砂防事業費（社会資本整備総合交付金）							
地区名	又ッカクシ富良野川	市町村名	上富良野町	総事業費	980 百万円			
負担割合	国	55.0%	道	45.0%	市町村	-	その他	-
	539 百万円		441 百万円		-	百万円	-	百万円
事業目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> ●土砂災害から地域住民の生命、財産、公共施設などを守るため、砂防設備の整備を行う。 ●平成20年7月、平成28年8月に土砂流出が発生しており、今後の出水により下流域への土砂流出が懸念される。 ●既設1号砂防堰堤の高上げ改良を行い、人家や公共施設などを土砂災害から守ることを目的とする。 							
	【アウトカム】 等 <ul style="list-style-type: none"> ●土砂災害により被災するおそれのある家屋数 1,007戸 → 0戸 							
事業概要	又ッカクシ富良野川砂防事業は、土砂災害から人家や公共施設などを守るため、砂防設備（砂防堰堤工）の整備を行うものである。	工事費内訳	【計画】砂防堰堤高上げ改良			(百万円)	(百万円)	(百万円)
			砂防堰堤工 N=1基	215	752	537	増減額	
			測量設計費 調査・設計	120	228	108		
計				335	980	645		
総合計画での位置付け	総合計画の体系	大項目	中項目	小項目	施策名			
		生活・安心	強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮	大規模自然災害に対する北海道自らの脆弱性の克服	大規模自然災害対策の推進（強靱化）			
特定分野別計画等での位置づけ	施策目標・方針	【計画名：北海道強靱化計画 P26】 （砂防設備等の整備） 土石流危険渓流や急傾斜地崩壊危険箇所など土砂災害の恐れのある箇所について、近年の災害発生状況や保全対象などを勘案し、砂防設備や急傾斜地崩壊防止施設、地すべり防止施設等の整備を推進する。						
	関連する指標	土砂災害から保全される人家戸数 約2.5万戸（2018） → 約2.7万戸（2022）						

II 公共事業評価経過

（単位：百万円）

事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費	道負担額	当該年度事業費	累計事業費	進捗率(b)/(a)
							(a)			(b)	
事前評価又は当初	H24 (2012)			H26 (2014)		120	54				
前回再評価	H24 (2012)	H28 (2016)	H29 (2017)	H31 (2019)		335	151	60	195	58%	
今回評価			R4 (2022)	R10 (2028)	10	980	441	70	525	54%	

変更理由・内容（概要）

- (1) H28年8月出水の土砂堆積による掘削土量を見直したことなどによる増
- (2) 落石が確認されたことによる対策工の増、及び事業期間の延伸
- (3) H28年8月出水により、土石流に対する仮設工を見直したことによる増
- (4) H28年8月出水により、側方浸食が発生したことから、対策工としての護岸工を追加したことによる増
- (5) 残事業費の施工期間を精査したことによる事業期間の延伸 (6) 資材・労務単価の上昇による事業費の増額

III 事業採択前の状況

1. 事業採択に至る経過と背景	<ul style="list-style-type: none"> ●平成20年7月、平成28年8月に土砂流出が発生し、土砂災害に対する危険性が高い。 ●氾濫区域内に人家や道道（第1次緊急輸送道路）や要配慮者利用施設などが位置していることから、砂防設備の整備が必要である。
2. 事業検討の経緯（住民ニーズの把握等）	<ul style="list-style-type: none"> ●H22年 上富良野町からの砂防事業要望 ●H23年 上富良野町からの砂防事業要望 ●H24年 又ッカクシ富良野川火山砂防事業に着手
3. 事業効果を及ぼす地域・対象	<ul style="list-style-type: none"> ●上富良野町 人家913戸→1,007戸、事業所69箇所、道道2.1km（第1次緊急輸送道路）、町道0.14km、農地36ha→35ha、避難所6箇所（内要配慮者利用施設1施設）

4. 関連する事業	事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容

IV 事業の実施状況

1. 進捗状況	(1) 事業実績及び今後の計画											進捗状況	事業費(百万円)			
	施工(工種)区分	工事内容	H24	~	H28	~	R1	R2	R3	R4	R5			~	R10	
	砂防堰堤改良工	N=1基(嵩上げ)										N=1基			36%	752
	測量設計費	調査・設計													94%	228
																0
																0

(2) 進捗状況
 落石対策工の追加、H28年8月出水、及び夏期間の施工に限定されてたことにより事業期間を延伸したが、概ね予定どおり進捗しており、今後の事業実施にあたって、特に大きな支障となるものはない。

b a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。
 c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。

2. 事業効果	経済効果の内訳(百万円)		費用の内訳(百万円)		備考
	項目	R4現在	項目	R4現在	
	被害軽減効果	1,945	建設費	885.2	●「治水経済調査マニュアル(案)」(国土交通省 R2)「砂防事業の費用便益分析マニュアル(案)」(国土交通省水管理・国土保全局 砂防部 R3年1月)に基づき算出。 ●効果及び費用は、R4に現在価値化し、「整備期間+完了後50年間」で算出。 ●費用は、現在価値化及び50年間の維持管理費の計上により総事業費と異なる。
			維持管理費	0.3	
	合計(B)	1,945	合計(C)	885.5	
B/C	前回算定年度 : H29(2017年度)【再評価】 前回算定時B/C : 3.39 変更理由 : 総事業費の増加				
R4現在	2.20 ・事業費の増額に伴う費用の増加 ・「治水経済調査マニュアル(案)」及び「砂防事業の費用便益分析マニュアル(案)」の改定に伴う便益算定方法の見直しによる効果の増加 ・保全家屋及び要配慮者利用施設の増よる効果の増加				

3. コスト縮減などの取組	取組の項目	取組内容	縮減額(百万円)
	資源循環の促進	すき取り土を法覆工に有効利用することによるコスト縮減	1

V 評価

1. 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ● 本事業は、上富良野町の人家及び耕地等の土砂災害を防止するためのもの。 ● 今後の出水により下流域への土砂や流木流出が懸念されるなど、土砂災害が発生する危険性が高い。 ● 事業の必要性に変化はなく、着実に事業の進捗を図る必要がある。
	a

2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題
	<ul style="list-style-type: none"> ● 石模様の化粧型枠を設置することで国立公園の環境への配慮を図る。 ● 砂防堰堤工において法覆工にすき取り土を用いることで在来種による緑化を促し自然環境に配慮している。
	(2) 事業推進に対する住民の動向
<ul style="list-style-type: none"> ● 上富良野町から事業の早期完成に向けて毎年度要望が出されている。 	
(3) その他の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業に影響を及ぼすような課題は特にない。

3. 事業達成の見込み	事業計画に影響を与える状況変化や事業推進に影響を与える重大な懸念事項もないことから、事業目標達成が見込まれる。
	a

4. 対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和10年度（2028年度）の完成を目指し、事業継続する。					
	a	a：継続	b：終了	c：休止	d：中止	
	事業期間変更の有無	有	事業内容変更の有無	無	総事業費変更の有無	有

VI 備考	
1. 評価履歴	【評価結果】 事前評価： 該当なし 再評価： 平成29（2017）年度評価 評価結果： 継続（変更なし） B/C=3.39 【特記事項】
	2. その他の取組事項

補足資料

VII 事業計画変更 （単位：百万円）											
事業経過	再評価	事業採択	着手	評価年度	変更年度	完了予定	事業費				
							総事業費 (a)	当該年度事業費	累計事業費 (b)	進捗率 (b)/(a)	
事前評価又は当初		H24 (2012)	H25 (2013)			H26 (2014)	120				
変更①		H24 (2012)	H28 (2016)		H26 (2014)	H31 (2019)	323				
変更②	1回目			H29 (2017)	H29 (2017)	H31 (2019)	335				
変更③					R1 (2019)	R5 (2023)	956				
変更④	2回目			R4 (2022)	R4 (2019)	R10 (2028)	980	70	525	54%	
変更⑤											
変更⑥											
変更⑦											
変更⑧											
変更⑨											
変更⑩											
変更理由・内容							経				
							過				
							年				
							数				
							10				
変更①：事業費の変更及び事業期間の変更 ・砂防堰堤改良工に伴う注入工の増工などによる 変更② 事業費の変更 ・資材、労務単価の上昇による。 変更③：事業費の変更及び事業期間の変更 ・H28年8月出水の土砂堆積による掘削土量を見直したことなどによる増額 ・落石が確認されたことにより、仮設落石防護柵を追加したことによる増額及び事業期間の延伸 ・H28年8月出水により、土石流に対する仮設工を見直したことによる増額 ・H28年8月出水により、側方浸食が発生したことから、対策工としての護岸工を追加したことによる増額 変更④：事業費の変更及び事業期間の変更 ・工事施工量の増、及び残事業費により事業期間を精査したことによる事業期間の延伸 ・資材、労務単価の上昇や消費税率の変更による事業費の増額											

ヌッカクシ富良野川 火山砂防事業費（社会資本整備総合交付金）



凡例	
	流域界
	計画基準点
	基準点
	既設砂防堰堤工
	既設床固工(流木捕捉工)
	計画砂防堰堤工
	流路
	想定氾濫区域
	国有保安林界



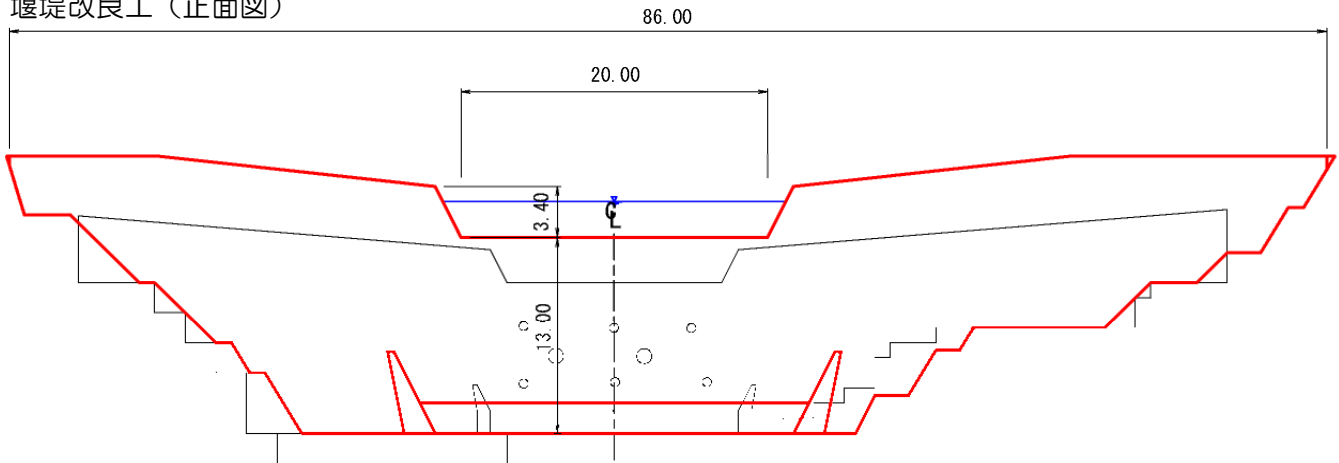
事業の目的

- 土砂災害から地域住民の生命、財産、公共施設などを守るため、砂防設備の整備を行う。
- 平成20年7月、平成28年8月に土砂流出が発生しており、今後の出水により下流域への土砂流出が懸念される。
- 既設1号砂防堰堤の高上げ改良を行い、人家や公共施設などを土砂災害から守ることを目的とする。

事業の概要

ヌッカクシ富良野川砂防事業は、土砂災害から人家や公共施設などを守るため、砂防設備（砂防堰堤工）の整備を行うものである。

堰堤改良工（正面図）



堰堤改良工（側面図）

